

バオヴィン集落での生業に関するアンケート調査

三宅美穂, グエン・ティ・ハー・タイン, 西村昌也

Questionnaire Research at Bao Vinh

MIYAKE Miho, NGUYỄN Thị Hà Thành and NISHIMURA Masanari

バオヴィンで集落の現居住者から、過去、そして現在の生業について、2009年夏期調査にて聞き取り調査を行った。聞き取り項目は、それぞれの方が行う生業の来歴やその内容である。なお、この調査は、野間晴雄の指導にもとづき、三宅とグエンが主体的に行い、2009年度参加大学院生の全てが参加した。結果のとりまとめは西村が行った。

表はその結果である。姓名はイニシャル表記とした。商区バオヴィンに特徴的な、伝統的商業（陶器販売や漢方薬）を行ってきた人、Hiền Lương（賢良）より移住してきた鍛冶屋業の人たちなどが存在する。また、かなりの多くの方が先祖が移住してきたことを記憶しており、商区バオヴィンとして、人の流入が激しかったことを示している。

周縁の文化交渉学シリーズ7 フェ地域の歴史と文化

番号	姓 名	年齢	性別	生地	故郷	親族関係	出店の歴史
1	H.V. K.	39	男	バオヴィン	Sĩa (Quảng Điền 県の中心)	本人を含む9人兄弟、うち3人の男は漢方薬家業を継ぎ、うち2人はバオヴィンに店を開いた。	8年前に父より継ぐ。店は、内祖父が95年前に始めた。
2	P. T.	56	男	バオヴィン	バオヴィン		60年前よりやっており、本人で2代目。
3	H. V. S.	42	男	バオヴィン	Sĩa	本人を含む9人兄弟、うち3人の男は漢方薬家業を継ぎ、うち2人はバオヴィンに店を開いた。	16-17年前よりやっており、兄は18年前より An Lỗ でやっている。
4	P. T. D. L.	67	女	バオヴィン	Sĩa	不明（長男はいる）	
5	H. T. D. L.	61	女	バオヴィン	Kim Long	4人の姉妹がおり、本人は姉と居住、残り2人はダナンに居住	以前1930年代、本人の父母がバオヴィンに移り住み、この家を購入し、店を開いた。
6	V. H.	60	男	バオヴィン		夫	16歳の時より絵描きをしており、昔、フェの美術大で学んだ。
	N. T. K. M.	57	男			妻	Võ Hà の母が残した店で、4-50年の歴史がある。本人自身は20年ばかり店をやっている。
7	B. L.	>60	女	バオヴィン			約百年前より
8	H. N. H.	40	男	バオヴィン	Hiền Lương	3人兄弟で、長兄は扉造りをやっており、残り2人は鍛冶屋をやっている。	80年前に、内祖父の代に Hiền Lương より移住。内祖父は100年前にすでに鍛冶屋であったという。
9	T. T. T.	44	女	バオヴィン	Hiền Lương	弟が近くで、向かいで鍛冶屋をやっている。	内祖父の代よりやっており、本人で3代目。息子は4代目となる。
10	D. Q. K.	58	男	バオヴィン	Hiền Lương. 鍛冶屋業は Hiền Lương が起源ではなく、Trung Lương からである。先祖は父安より、広南阮氏入府に従い移住。		本人の代で2代目であり、子供が3代目となる。

バオヴィン集落での生業に関するアンケート調査（三宅ほか）

商っている商品	他の生業	働いている人の数	仕入れ品	客筋
漢方薬	専業	1人（時々、妻方の親戚が手伝いに来る）	中国とベトナムの漢方共に、フエ市内の大きな薬屋から仕入れる。	主に地元やフエ市の客、ハノイやホーチミン市に行ったフエ人が戻ってきて買うこともある。父の代より来ている客もいる。
線香	専業	1人		フエ市内の各店に売っている。
漢方薬	専業	2人（夫婦）		Phù Mậu, Phù Tàiなどの周辺の人
雑貨	専業	2人（夫婦、夫は炭を、妻は雑貨を売る）	フエ市内より仕入れる。	
	以前、本人は看護婦をやっており、姉は小学校の教員をやっていた。			
絵、銅像、彫刻品	絵描き	1人	夫と息子3人	お金持ちの客は、主にアメリカ、フランス、日本などの外国人
昔の商品は、Phan Thiết の人間が運んできた魚醤や塩、クアンナムの人間が運んできた土器、中国製やハイズオン製の香炉、土鍋、碗など、さらには鍛冶製品も扱った。	商品商売	1人	以前、クアンナムから仕入れていたものが多く、ハイズオンの人間は、中国製品も、自身の産品も持ってきた。鍛冶製品はバオヴィンのものを扱った。	主に地元の人で、たまに他所から来た人が買っていく。
本人は、市場での取税人。市場では果物、野菜、肉、乾物が売られている。		市場の中には100の出店先があり、各村からやって来ていおり、フエ市から来ている人もいる。しかし、長く商売をやっている人は5-6人しかいない。		主に地元の人
注文の小刀、長刀、非常に鋭く曲刃の刀は、1日1個程度しかできず、1個25-30万ドンで売れる。鉈、三日月刀などは1個3万ドン位で作り、1日10個生産できる。その他市場で売ってる一般的なものは1万ドンで作ってる。				フエの人、ハノイやサイゴンに行くフエの人が、注文し購入した。
鋏、ショベル、そして、フエ都城の修復で大量に注文された釘など。		3人（2人の夫婦と息子）		
以前、鋏、鎌などを生産していたが、現在は建設用のテコなどを作っており、Đông Ba市場を中心に卸し、一部はバオヴィンの市場でも売る。				クアンチ、クアンビン、クアンナム、ダナンなどから製品を買いに客が来る。

周縁の文化交渉学シリーズ7 フェ地域の歴史と文化

番号	姓 名	年齢	性別	生地	故郷	親族関係	出店の歴史
11	L. T. T.	81	女	バオヴィン	バオヴィン	以前、9人の兄弟姉妹がいた。父は無釉陶器を商って家族を養っていた。本人は家族がないので、甥の胡などと一緒に住む	父の代、約90年前より
12	P. H.	79	男	バオヴィン	バオヴィン	以前は9人家族で、息子の一人はフエ科学大学で教え、もう一人はホーチミン市で技師をやっている。	父母の代まで農業のみをやっていた。
13	T. Đ. T.	80	男	バオヴィン (từ đời ông cố của ông đã chuyên về dây ròi).祖父の代よりここに住み、本人は1971年よりここに居住。以前は、Bạch Yến 橋近くに住む	Quảng Trị省 Gio Linh 県 Võ Xá 村	3人の息子、娘がおり、一人はホーチミン市に暮らす。孫は7人	なし
14	T. Q. A.	38	男	バオヴィン	Hiền Lương (賢良)	鍛冶屋をやって20代になる。4人兄弟のうち本人のみが家業を継いだ。	父の代の時にバオヴィンに遷ってきた。

バオヴィン集落での生業に関するアンケート調査（三宅ほか）

商っている商品	他の生業	働いている人の数	仕入れ品	客筋
1954年以前は、ベトナムの無釉陶器や土器を商っていた。1954-1975年は、戦争のため無釉陶器などを仕入れることはできず、酒、菓子などを商う。1975年以後、新しい陶磁器製品が出現し、中国製品も入ってきたので伝統的ベトナム製品は売れなくなり、やめた。	家族も含めて、商売のみを行い、農業はやっていない。	1	クアンガイ、タインホア人が扱う壺、サイゴンジンが扱う杯などを商っていた。	村の人間や周囲の村の人間、さらにはクアンチ省のĐông Hàなどからも客が来ていた。また、扱っている商品がフエ市にはなかったため、フエから来る客もいた。
米				バオヴィンの周囲から客がくる。
なし	14-15歳で学校をやめ、父母を助け、豚の肉裁きをやった。1948年より1960年まで革命に参加し、社の文化関係の幹部もやっていた。現在、共産党員歴660年にもなり、1949年には副書記と共に捕まり、副書記は撃たれた。1954年にもつかまり、ダナンで投獄されたが、後に脱獄。1954年に北部に行き、高校1年まで学校に行き、1961年には少尉となった。しかし、それ以上は出世できなかったため、1961-1968年には、ハイフオンの教育局で会計にの仕事を遷り、1969-1975年にはハノイの教育省で、夫婦で勤め、その後故郷に戻り14年後に引退した。			
以前、内祖父や父の代の時には、客はクアンガイなどから来て、自転車の部品などを注文していた。現在は、肉切り包丁や竹切り刀、鉈、裁縫用鋏、のみ、かんなどを生産している。		2人（夫婦だが、妻は手伝う程度）	銅、鉄、銅のくず鉄	肉屋など、鋭い刀類を使う人、竹や木を切ったりする農家等が購入するが、注文生産の場合が多い。女もとの人のみばかりでなく、フエ市、ダナン、クアンチのĐông Hàなどからも人づてで客が来る。

